

館林市主催「春のつどい」に出演

3月8日、館林市教育委員会主催「八木節教室」に参加していた12名が、日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールで行われた「春のつどい」に出演しました。本来は2月8日に行われる予定だった「郷土芸能発表会」に出演予定でしたが、降雪のため延期となっております。子どもたちはそろいの法被に身を包み、八木節教室講習生として、元気に笛を吹いたり、おどったりしていました。



大人の人たちと一緒に参加しました。青い法被を着ているのが、本校児童。



篠笛隊のメンバー。今回は5名が参加し、演奏の主要メンバーとして活躍してくれました。また、今回は、本校教員も、たるを叩きながら歌ってしまいました。「子どもたちがこれだけがんばっているのにやらないわけにはいかないでしょ。」(❁´ι`❁)



今回の踊りは、タヌキのユーモアな動きを取り入れたそうです。かわいらしいですね。